

■ゼミ（教員提供・若手研究者提供）

※ゼミは、京都大学の教員が提供する「ゼミ（教員提供）」、京都大学の大学院生等が中心となって提供する「ゼミ（若手研究者提供）」の2種類です。

ゼミA 平成27年9月13日（日）14:00~15:30

記号	テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
A1	東日本大震災に関する研究（福島県との復興支援研究） 上田 義勝 （生存圏研究所 助教）	震災直後から福島県において農業や除染に関する連携支援研究を行っており、現在も継続しています。現地の今の状況などを通じて、研究や勉強についての参考にしてもらえたらと思います。	講義 （一部資料測定デモもあり）	
A2	測地学 —重力を測って地球を探る— 風間 卓仁 （理学研究科 助教）	「測地学」は地球の大きさや形を測定する学問です。今回は、測地学の観測で一般的な重力測定を皆さんに体験してもらいます。地球が私たちを引きつける力「重力」が、場所によってどれくらい違うのかを確かめます。この体験を通して、測地観測の重要性や地球の大きさを実感してみましょ	実験	B1と同内容
A3	グローバル化の過去と未来 柴山 桂太 （人間・環境学研究科 准教授）	経済の地球規模での一体化は、この30年で急速に進みました。一方で、世界的な金融危機や地域紛争など、新しいタイプの混乱も起きるようになりました。なぜなのでしょう？ 最近のニュースを素材に、グローバル化の現状と20~30年先の未来について考えてみましょう。	講義・質疑	
A4	猫のニャーるほどウイルス学 宮沢 孝幸 （ウイルス研究所 准教授）	猫もウイルスにかかって病気になります。 ・どんなウイルスが猫にかかるの？ ・防ぐ方法はないの？ ・一万年の猫の旅がウイルスで分かるって本当？ いろいろな猫のウイルスのお話をしたいと思います。	講義	
A5	ヘビの右利き？カタツムリの左巻き？ 細 将貴 （白眉センター（理学研究科） 特定助教）	カタツムリとそれを食べるヘビという変わった取り合わせの「左右」に注目して、いきものの進化について学んでもらいます。	講義	
A6	マグマ科学 —火山噴火の秘密を探る— 古川 善紹 （理学研究科 准教授）	火山の中には大爆発を起こし、私たちの生活や地球の環境に大きな影響を与えるものがあります。火山はなぜ爆発するのでしょうか？その秘密は火山の岩石の中に隠されています。食品など身近な品物を使った火山現象に関する簡単な実験を通じて、火山噴火の秘密を一緒に読み解いていきましょう。	実験	
A7	植物のかおり大研究 —葉はなぜかおるのか— 高林 純示 （生態学研究センター 教授）	植物のかおりは私たちを楽しませるだけでなく、植物をとりまくさまざまな生き物によって利用され、それらが共存するために重要な役割を果たしていることがわかってきました。この講義では、葉のかおりに注目して、それが紡ぎだす生き物の不思議な関係について、実験、ゲームと講義を行います。	講義、実験、実習	

記号	テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
A8	フィールドワークで アジアと日本をつなぐ 地域研究：過疎と離農の 問題 安藤 和雄 (東南アジア研究所 准教授)	研究手法には実験室型、書齋(研究室)型、農村などの現場に出かけるフィールドワーク型があります。京都大学の地域研究はフィールドワークを重視しています。京都府の中間山村が抱える過疎・離農問題に焦点をあて、この問題解決を目指してアジアの諸外国と日本をつなげる実践型地域研究について紹介し、参加者の皆さんとともに地球規模でものを見ることの重要性を考えてみます。	講義(生徒の参加型)	
A9	フランコフォーンを知ろう ーヨーロッパ、アフリカ、ポリネシアのフランス語話者の人々の言語と文化ー 西本 希呼 (白眉センター(東南アジア研究所) 特定助教)	フランス語はフランス以外にも、ベルギー、スイス、そしてアフリカ諸国、ニューカレドニア、タヒチなど世界各地で話されています。本講義では、フランス本土をはじめ、フランス語が話されている世界について学習します。また、テキストと音声教材を使い、挨拶や自己紹介、フランス語の仕組みなど簡単なフランス語入門講座をおこないます。	講義及び双方向コミュニケーション	B6と同講師 (内容異なる)
A10	留学生と一緒に世界の環境問題を考えよう 舟川 晋也 (地球環境学堂 教授)	環境問題は私たちにとって国を越えた課題です。本ゼミではアジア・中南米からの留学生らが中心となり、海外(特に開発途上国)の環境問題や解決に向けた研究や実践を紹介しします。教員と留学生を交えた小グループに分かれ、自由に質問や議論をしながら、世界の環境問題について考えましょう。 留学生による発表や留学生との対話は日本語(もしくは通訳付き)で行います。	講義、グループディスカッション	B8と同内容
A11	日本語と英語のあいだ 人間・環境学研究科 共生人間学専攻ゼミ 小泉嘉輝(大学院生) <u>若手研究者提供</u>	日本文化は英語でどのように発信されているのだろうか。またその逆はどうだろうか。言語のちがいは伝達内容にも差を生むのだろうか。このゼミは身近な題材を通してこれらの問いに答え、英語と日本語に対する受講生の見方を新しくすることを目指している。題材として、Yahoo 知恵袋・「進撃の巨人」・Taylor Swiftなどを扱う予定である。	講義	
A12	アメリカのティーン映画に見る若者の表象 ー子どもから大人への境目にある「どこにもないどこか」を生きる時間とはー 人間・環境学研究科 共生人間学専攻ゼミ 西岡かれん(大学院生) <u>若手研究者提供</u>	10代の若者の悩みや成長を描くティーン映画は、子どもから大人への境界線上にある“in between”(中間)的空間を可視化してきました。『スタンド・バイ・ミー』、『アメリカン・グラフィティ』、『理由なき反抗』などの名作映画から、「大人になること」の意味を一緒に読み解いていきましょう。	講義形式(時間がゆるせば討論も導入)	